

学校目標『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う西与賀っ子』の育成



令和7年11月14日(金)
文責 校長 大石 文枝 12号
☎ 0952-23-6300



④ここにこあいさつする子 ⑤しっかり勉強する子 ⑥ろこんで働く子 ⑦からだをきたえる子 ⑧ながり学び合う子 ⑨ころをみがく子

■ 「聴く」力を育てるには

「聞く」と「聴く」どちらも「きく」ですが、できれば子供たちには耳だけで「きく」のではなく、「耳」と「目」と「心」をプラスして聴いてほしいと思っています。しかし、最近の子供たちの現実を見てみると、「きく」力の弱い子が増えているように思えます。全校集会での話や学級での担任や友達の話をあち向いたり、別のことを持ちながらして「聞く」子供を見かけます。自分本位なおしゃべりは得意ですが、人の話をきちんと「聴く」力は乏しいように感じます。「聴く」ように促しの声掛けをすると、その瞬間はできるのですが、また、すぐに「聴く」ことができなくなってしまう。要するに長続きしないのです。きっとこれは、「聴く」力の土台となる集中力や持続力、忍耐力などが弱いからなのでしょう。このままにしておいていいのでしょうか?いいえ、何らかの対策をとらないといけません。学校でもそれから子供たちが大人になって生き抜く社会においても、人の話をきちんと「聴く」ことはとても大切ですし、「聴く」力は、学校の学習の読み書きを下支えする基本的な能力といってもいいでしょう。

では、この「聴く」能力をどうやって鍛えていくか、どうすれば「聴く」力がつくのでしょうか?

その効果的な方法は身近にあって、実は、それは「読み聞かせ」なんだそうです。時間は、10分間程度でいいそうです。私も担任をしていた頃、よく学級で読み聞かせをしていましたし、今も、年に2~3回全校集会の校長の話の中に読み聞かせを入れています。「読み聞かせ」を続けると、必ず「聴く」力や集中力が育つそうです。「読み聞かせ」の経験がある人は、集中して「聴く」子供の姿が、容易に思い起こされ、「なるほど!」と納得されるのではないでしょうか。ましてや、「読み聞かせ」をする内容が感動を誘うお話ならば、情緒豊かな子供に育つこと、間違いないでしょう。

学校では、「うち読」も推奨しています。ご家庭でも、時間を見つけて継続的に「読み聞かせ」に取り組まれてみませんか。「読み聞かせ」の効果は、「聴く」力だけでなく他にも、例えば、親の愛情をたっぷり感じる、親子の絆が深まるなどが考えられます。

ぜひ「読み聞かせ」で、子供の「聴く」力や心を育てましょう!

■ おやじの会 花苗植え 除草作業

11月1日(土)に、「おやじの会」のみなさんが、児童玄関そばの花壇にチューリップの球根やパンジー・ビオラの花苗を植えたり、学校西側のフェンス沿いの草や蔓を刈ったりしてくださいました。4日(火)に朝早く登校した子供たちの中には、すぐに気が付く子もいて、「パンジーの花が植えてある!」と嬉しそうに話していました。これから寒い冬を越え、チューリップやパンジー、ビオラの花々が咲き誇る春が今から待ち遠しいです。貴重なお休みの午後の時間を学校のためにと、割いて作業をしてくださる「おやじの会」の皆さんに、心からお礼申し上げます。



おやじの会の皆さんのかかれば、あっという間でした

■ 1・2年生 芋掘り体験

11月5日(水)にまちづくり協議会の11名の皆様にお手伝いしてもらいながら、1・2年生は芋掘りの体験をさせていただきました。子供達は、2時間目からの参加でしたが、その前に地域の皆さんのが、畠周りのゴミを撤去された上で、蔓を切ったり黒いマルチシートを除去したりしてくださっていましたので、子供たちは簡単に芋にたどり着くことができるはずでした。しかし、最近は雨も少なく、土も硬かったので、子供たちは、力一杯、手やシャベルで掘り進めることになりました。でも、なかなか手強く、すぐには掘れません。そうこうしているうちに2時間目に掘った1年生からは、「誰からともなく「うんこしよ。どっこいしよ。」の掛け声が聞こえます。国語の学習で「大きなかぶ」を学んだ1年生の子供たちならではの光景でした。それでも堅い土は、地域の方々がスコツ



「やったー。大きな芋がとれたよ!」と大はしゃぎ

پでほぐしてくださったので、大きな芋がごろごろ出てきて大喜びの1年生でした。最後に地域の方に、「みんなでやったから楽しかった」「でかい芋がとれてよかった」と感想を伝えました。活動が終わって、自分でその場で考えた感想が言えるようになっている1年生の成長に嬉しくなりました。

3時間目の2年生の子供たちは、小学校で2回目の体験で、とても要領がよくて、あっという間に、終わってしまいました。地域の皆さんには「さすが2年生ですね。」と感心されました。少し油断していたら、1年生がすでに掘って埋め戻していた場所まで掘り起こしていた2年生。それはそれで、地域の皆さんへの笑いを誘っていました。きっと、物足りなかったのでしょうか。芋掘りは今回が最後であることを知っている子は、「これで終わりか。寂しいなあ。」ともらしていました。この体験は、きっと子供たちの心にいい思い出として刻まれることでしょう。まちづくり協議会の皆様、本当にありがとうございました。

■ 2回目の たてわり掃除開始

11月7日(金)から、今年度2回目の縦割り班での掃除を開始しました。「今度はどんな場所を掃除するのかな」と期待をしていた子供たち。張り切る気持ちを物語るように、初日は、特に集合場所に集まるのが早かったです。本格的には10日(月)からのスタートで、上級生が手本を示しながら新しい場所の掃除のやり方を教えていました。掃除時間は、わずか15分です。みんなで助け合い、西与賀小学校をぴかぴかにしながら、勤勉さや誠実さ、責任感、思いやりの気持ちなどを育ててほしいと思っています。



協力して掃除に励む子供

■ 少年の主張 西与賀大会

11月8日(土)に第39回「少年の主張 西与賀大会」が開催されました。本校からは5・6年生が4名、城西中から1名の計5名が出場しました。私は小さい頃は、とても恥ずかしがり屋で、人前で話すことを苦手していました。人前で話すと緊張して、うまく言葉がつながらないなんてことがよくありました。だから、思っていることを文章にまとめて、自分の主張として話すことができる子供たちは立派で、尊敬します。子供たちは、学校の学習から発展させて考えたこと、読んだ本がきっかけで考えたこと、体験活動を通して感じ、考えたことなどをしっかりと自分の言葉で訴えることができました。発表を聞く機会をもらって、大人として子供に恥じない生き方をしなければならないと、改めて実感をしました。主張大会に出場するからには、たくさん練習した努力の跡も見えました。市の大会に出る出場枠は1枠でしたので、審査の結果は出ましたが、どの子供の発表も甲乙つけがたく素晴らしいもので、感銘を受けました。このような機会に、自分から果敢に挑んだ子供たちの勇気にも心からの拍手を送ります。これからも自分の考えや思いをどんどん発信していってほしいものです。

■ まなざし街頭活動

11月12日(水)にまなざし街頭活動が行われました。いつものように地域の皆さんには、小学校の子供たちが下校する時間に合わせて、校区内の数カ所に分かれ、見守り活動をしてくださいました。「おかえりなさい」「気をつけて帰らんばよ」「車に気をつけてね」などと声も掛けてくださいました。地域の皆様に見守られながら育つ西与賀っ子たちは、幸せです。西与賀町をふるさととして、将来は、心のよりどころとするのではないかでしょうか。していただいたことに対して感謝の気持ちをもち、西与賀町に貢献できる人に成長してくれることを願います。



手を挙げて渡っています

■ 6年2組 体育の授業公開

11月11日(火)に6年2組で体育の授業公開がありました。佐賀市内の先生方30名ほどが授業を見に来られました。種目は、「ハードル走」です。子供たちは、参観の先生が大勢見ていらっしゃるにも関わらず、いつも通りの平常心でハードルを跳んでいました。互いに声を掛け合ういい雰囲気の中、タイムを計って、記録を伸ばそうと懸命に努力する子供たちでした。



飛び越す姿がかっこいい!

11月16日(日)は、フリー参観デーです。1時間目:授業参観、2~4時間目:にじよか文化祭(体育館)、12:40~:町区集会。子供たちの学習の様子や発表をぜひご覧ください。よろしくお願ひします。